

鍛錬坂



奈留高校
学校だより
第101号

人は人を浴びて人になる

校長 下釜 祐保



「木は光を浴びて樹になり、人は人を浴びて人になる。」とは、けだし名言である。第1の「人」は「ヒト」、第2は「人間社会」、第3は「人物」とでも解釈できようか。インドでオオカミに育てられたという少年・少女の逸話もあるが、人間の成長過程において、第2の「人」の影響は大きい。

先日、2学期の大きな模試が全学年行われた。模試の意義は分かっているはずだ。どんな模試か、浴びるにふさわしい模試だから「大きな模試」なのだ。課題があれば、すぐに対策に着手することが肝要だ。3年生は就職試験や専門学校の入試が始まり、10月末現在、全員が内定や合格をいただけた。これは、指導する教員の熱心さもあるが、文武両道を目指し努力した証としての輝く勲章に他ならない。

文化祭、中中高合同の体育大会と百人一首大会、野球部の国体出場及び全校応援とその関連行事、奈留島で開催された国体綱引き競技、野球部と女子バドミントン部は新人大会もあった。そのどれもが盛大であっただけに、全校生徒が多忙を極めたに違いない。これらの経験は既に血肉となって逞しさを増していることだろう。

学生の本分は勉学であり、学校行事や部活動を理由に学習が疎かになっては本末転倒であるが、「仕事や立場が人を育て、学校行事が生徒を育てる。」とも言う。学習、部活動、学校行事、地域の行事、ボランティア、家庭の手伝い等々、どれも手を抜けない。良質の忙しさやふりかかる課題にもがく経験が青年期には最も必要だ。それこそが、第2の「人」なのである。

互いに成長し合う仲間のエネルギーを浴び、情熱あふれる先生方の指導を浴び、真の高校生活を通して、第3の「人」になる秋にしよう。



行事予定



- 1日(土) 3年大学別オープン模試
小論文テスト
- 3日(月) 文化の日
- 5日(水) 中中高合同マラソン大会
- 8日(土) 3年対外マーク模試(～9日)
- 9日(日) 英検②2次
- 11日(火) 長崎県総合文化祭
- 15日(土) バド部県新人戦・野球部五島選手権
3年センタープレ①(～16日)

- 20日(木) 期末考査時間割発表
- 21日(金) 容儀検査
- 22日(土) 五島地区PTA研修会
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 27日(木) 期末考査(～12月2日)

寒さ負けずに頑張ろう!

1学年より

月日が経つのは早いもので、高校に入学してから半年が過ぎました。秋も深まり、朝夕が冷え冷えする日も多くなってきています。秋と言えば「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」など、様々なことにチャレンジする絶好の時期だと昔からよく言われています。さて、1年生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。しっかりと食事を取り、部活動に汗を流していますか。将来を見据え、学習に励んでいますか。心身共に鍛え、文武両道を今一度意識してはいかがでしょうか。何号か前に、「夏の頑張りが秋に結果として実る。」と書きましたが、最大限の努力をして己を鍛えた夏であったでしょうか。もし、「まだまだ頑張れた。」と思う人は是非、この秋に決意を新たに精進してもらいたいものです。冒頭で述べましたように、月日が経つのは早いものです。1年生諸君よ！頑張れ！頑張れ！頑張れ！！奈留高校を盛り上げる学年となるのだ！！

2学年より

生徒会役員任命式が終わり、国体が終わり、百人一首大会が終わり、目まぐるしい2学期も半分を過ぎました。行事が1つひとつ終わるごとに『次は自分たちの番だ』という自覚を2年生は持ち始めているようです。部活動や生徒会、各種委員会では3年生に代わり2年生がリーダーを務めることになり、2年生主体の奈留高校がスタートしました。たった8名、でも1人ではありません。周囲の人々の協力を得ながら、時には相談しながら部活動や行事を進めていってほしいと思います。8人という少人数だからこそスムーズに進められることもたくさんあるはずです。高校2年生のこの瞬間は一生に一度だけ。『部を引っ張っていく』『一球一球を大事に』『勇往邁進』今の気持ちを大切に日々前進せよ！

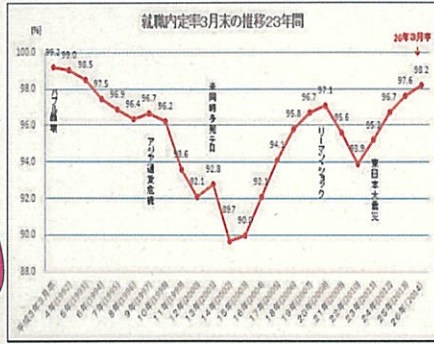
3学年より

軟式野球部5年ぶりの出場となった「長崎がんばらんば国体」では、3年生も全国ベスト8の強豪を相手に、見劣りしない素晴らしいプレーを見せてくれました。普通の高校生は経験することの出来ないチャンスをいただけたことに感謝をし、これからは進路決定に向けて一直線に突き進んでほしいと思います。

さて、就職希望者は生徒自身の努力と、保護者の皆様、地域の方々のご支援のお陰で、全員第一志望の企業から内定をいただくことができました。これからは、社会人として働くという高い意識と、故郷への感謝の気持ちを持って生活してほしいと思います。

進学希望者はこれからが正念場ですが、最後まで全員で声をかけあって大きな山を乗り越えて行きましょう。

就職内定状況 祝★進路実現100%達成!!



就職希望者全員が、見事内定を勝ち取りました。本年度内定を頂いた企業は以下の通りです。

- ・株式会社シンダイ(1名)
- ・有限会社雲仙富貴屋(1名)
- ・山崎製パン株式会社(2名)

☆1・2年生就職希望の皆さんへ☆

近年高校新卒者の内定率は上昇傾向にあります。左表で分かる通り、企業の雇用状況は世界の情勢に大きく左右されます。油断は厳禁です。どんな状況にあっても第一志望の内定を確実に勝ち取るためのポイント。それは、**早期の目標設定と入念な就職試験対策**です。受験対策の本格始動は2年の3学期。

勝負の時を逆算して、今、成すべきことを具体的に実行しましょう。(表は厚生労働省報道発表による)

第7回小中高合同体育大会



9月21日(日)に小中高合同体育大会を行いました。今年の体育大会は、会場設営日に雨が降りましたが、土曜日に児童・生徒や先生方の協力で会場設営も行いました。この風景は一貫教育が前進している瞬間でした。その甲斐あって、当日は、秋空の中、赤団・青団に分かれた児童・生徒がグラウンドを全力疾走しました。今大会は、奈留高校創立50周年記念プレ大会でもあり、保護者の皆様や地域の皆様・同窓会の皆様も参加していただき、大会も大いに盛り上がりました。



奈留高職員 ペンリレー「レンズを通して見える野球、見えなくなる野球」

奈留に来て、写真を撮ることが多くなった。特に野球の写真を撮ることが多い。写真の嗜みは全くなかったが、スポーツ写真をまともに撮るため極意は「冷静に喜ぶ」ということに気づいた(もちろん、カメラの性能も必要である)。撮影の任を仰せつかってまず第一にそのことに気付いたわけだが、これがなかなか難しかった。特に最初のころは出塁・ヒットが出ただけで、アウトを一つ取っただけで、「わー」と諸手をあげて喜んでた。得点が入ったり、長打・ホームランが出たときなんかは、欣喜雀躍、とてもじゃないが写真どころではなかった。それで取り逃がした名シーンは結構多い(ような気がする)。一瞬のきらめくプレイと沸き立つギャラリー、歓声。そんな中、高鳴る鼓動と震える両手をよそに、撮る。これが意外と難しい。そういうことに気づいた。レンズを通して見える世界、そして、見えなくなる世界。かなり、奥が深い。



松本 優一 先生

生徒会役員 紹介

- 生徒会長 葛島湖々呂
- 副会長 永峯千賀・植木希光
- 書記 京くるみ・矢口奈々
- 会計 杉山実奈美
- 執行委員 大小田拓光
- 古木瞳

一年間がんばります!!



奈留高校は地域の皆さんからもたくさんのご支援を受けています。そのご支援に答えるためにも、奈留高生が日々全力で物事に取り組む姿を見ていただきたいと思います。また、来年は奈留高校創立50周年記念の年です。みんなで力を合わせて奈留高史上最高の1年にしましょう。一年間宜しくお願いします。

中高合同マラソン大会

中高生が奈留島を熱くする!

平成26年11月5日(水)に中高合同マラソン大会を実施します。旧小学校を中心に、旧ターミナルから古巣グラウンドを使用します。皆様、中高生に温かいご声援宜しくお願いいたします。

長崎がんばらば国体 結果報告

10月13日(月)~16日(木)に開催された第69回国民体育大会高等学校野球(軟式)競技会に長崎県代表として奈留高校軟式野球部が出場しました。台風の影響で1日順延となりましたが、14日(火)の第2試合で兵庫県代表の神港学園神港高校と対戦しました。地元ということで盛大な応援の後押しもあり、先制点を奪うなど順調な試合運びでしたが、終盤に逆転を許し5-1で惜敗し、目標であった前回大会の記録を上回る結果を残すことはできませんでした。

当日はお忙しい中、奈留島から多くの方が応援に駆けつけてくださり、五島海陽高校の吹奏楽部との合同演奏なども含め、球場全体が奈留高校応援団の様な雰囲気、選手達も普段以上の力を発揮できました。本当にありがとうございました。

16日に行われた閉会式において、日本高等学校野球連盟副会長の村上和弘様のご挨拶で次のような胸が熱くなるお言葉を頂きました。「最後にこの大会で胸が熱くなる光景を見せていただいたので紹介したい。それは奈留高校の諸君が試合で敗れた神港学園高校の選手達に駆け寄り、涙ながらに自分たちの思いを託していた場面であった。こんなにも純粋な子ども達が育ったこの五島は大変素晴らしい環境だ。この島の宝である子ども達をこれからも大切に育てていただきたい。」

奈留高校の「小さな島の大きな挑戦」はこれからも続きます。

